

# 服の上からでは 見つけられない病気があります

## せきちゅうそくわんしょう 思春期特発性 側弯症

### 背骨が左右に曲がる病気

症状が進むと背中や腰の痛みが出現。早期発見できないと手術が必要になることも。

前は隠したままでOK！背中だけ見れば十分です。

思春期特発性側弯症は、11歳ごろから始まり、思春期に進みやすい病気です。女子に多く、女子全体の約50人に1人がかかります。ゆっくり進む病気なので、本人も気づかないまま過ごしてしまうことがほとんどです。

だからこそ、学校健診で定期的にチェックすることがとても大切です。

実際、健診でチェックするようになってから

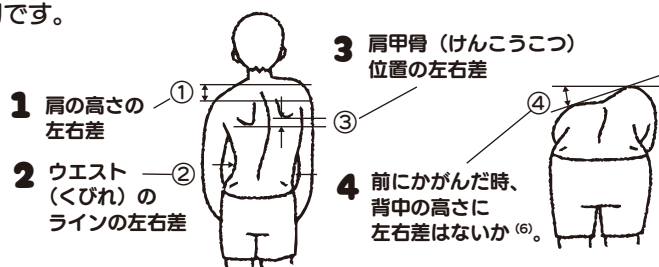
発見率が44%から75%に上がり、

より早く見つけられるようになりました。

体操服のままだと背骨の曲がりを見落としやすく、

薄手の肌着やタンクトップなど

背中を確認しやすい服装でチェックすることが重要です。



## 聴診

### 音をちゃんと聞き取る

音をちゃんと聞き取るために、  
肌に近いところで聴く必要があります。

完全に脱ぐ必要はなく、  
肌着やタンクトップを着たまま、  
その下に聴診器をあてるだけでOKです。



### こんなことが見つかります

- ▶ 心臓の病気
- ▶ 喘息などの病気



### 聴診器をあてる時、なぜ服をめくるの？

心臓の音や呼吸の音を正しく聞くためには、  
聴診器を直接肌にあてる必要があります。  
厚い体操服の上からだと、音が小さくなったり、  
布がこすれる音が混ざったりして、正確に聞き取れないからです。

といっても、上半身を完全に脱ぐ必要はありません。

肌着やタンクトップを着たまま、  
その下に聴診器を滑り込ませるだけで十分です。

軽い喘息は、本人も気づかないまま  
「なんとなく風邪が長引きやすい」で終わってしまうことがあります。  
喘息をケアしないしていると、授業に集中しにくくなったり、  
学校を休む日が増えてしまいます。  
健診で早めに見つけることが、  
あなたの学校生活を守ることに繋がります。

## 皮膚

### 湿疹・あざ

治療がうまくいっていない  
湿疹や、気になるあざが  
見つかることがあります。

### こんなことが見つかります

#### ▶ 湿疹

アトピー性皮膚炎などの肌荒れが、  
きちんとケアできているか確認します。



### いやだと思ったら 言ってい

健診では相談のうえ、  
服装の変更をお願いすることもできます。  
不安なことは学校の先生や  
保健の先生に伝えてください。

